◎創世記１７章を振り返りましょう

◎創世記１８章１～１５節を読みましょう

１．「主は、マムレの樫の木のところで…」から、どんなことがわかりますか。

２．アブラハムは三人の旅人を見ると、彼らにどのように接しましたか（２～５節）。

３．アブラハムは三人の旅人の返事を聞いて、実際にどのようにもてなしましたか。

４．三人の旅人がアブラハムに告げた言葉（１０節）から、どんなことがわかりますか。

５．「サラは心の中で笑って」という言葉から何がわかりますか。

６．サラが心の中で笑ったことについて、主は二人に何を教えようとされましたか。

◎創世記１８：１６～３３を読みましょう

７．主はアブラハムのことをどのように思っていますか。そこから何がわかりますか。

８．ソドムの裁きを聞いてアブラハムはどうしましたか。また、主はどうされましたか。

９．アブラハムがソドムとゴモラのために、主にとりなしの祈りができた根拠は何ですか。

１０．アブラハムのとりなしの祈りの姿から、何がわかりますか（２７～３２節）

１１．アブラハムの祈りに対する主の答えから、何がわかりますか。

１２．今日の聖書個所からあなたは何を学びましたか。

①主はご自身の（　　）を私たち（主の民）に示される
②主は私たちが（　　）ではなく（　　）になるのを望まれる
③主は（　　）を探しておられる（エゼキエル２２：３０）
④主は（　　）が救われて（　　）を知るのを忍耐して待っておられる
⑤

＊ 終わりに、１８章全体のタイトル（主題）を考えてみましょう。

「　　」